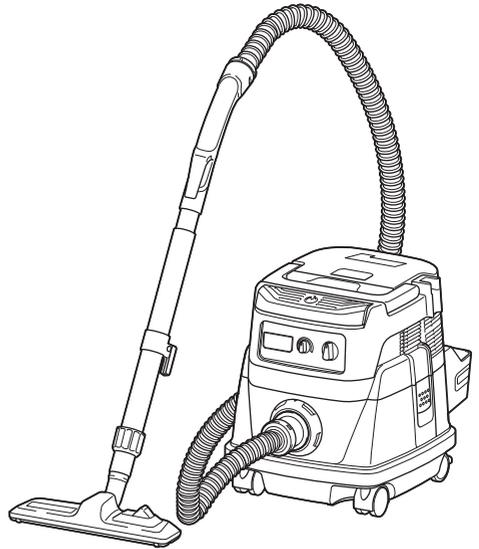


Makita

取扱説明書

充電式集じん機

モデル **VC862D**
(乾湿両用)



このたびは**充電式集じん機**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 充電式集じん機の使用上のご注意	11
・ 各部の名称と標準付属品	13
・ 別販売品のご紹介	14
・ 使い方	16
・ ツールボックスの取り付け方	16
・ ホースの取り付け方	16
・ ポリ袋の取り付け方	17
・ バッテリーの取り付け・取りはずし方	18
・ バッテリー保護機能	19
・ バッテリーについて	19
・ バッテリーを長持ちさせるには	20
・ バッテリーの回収について	20
・ スイッチの操作	21
・ 各種機能	22
・ 吸水時の自動吸込停止機構について	24
・ 切替ノズルの使い方	24
・ ツールボックスの使い方	25
・ 別販売品の使い方	26
・ ゴミの捨て方	26
・ クロスフィルタの取り付け方	27
・ パウダフィルタの取り付け方	28
・ 粉じんの捨て方（別販売品のパウダフィルタ使用時）	29
・ 別販売品パウダフィルタのお手入れ	30
・ 水用フィルタの取り付け方	30
・ 紙パックの取り付け方	31
・ 運搬・収納	32
・ 取っ手の使用方法	32
・ キャスタの固定・解除	32
・ パイプホルダへの収納方法	33
・ ホースの収納方法	33
・ 保守・点検について	34
・ フィルタのお手入れ	34
・ 本機のお手入れ	35
・ 保管場所について	35
・ ご修理の際は	35

主要機能

主要機能	モデル	VC862D
電動機		直巻整流子電動機
バッテリー (別販売品)		バッテリー BL1830B (容量 3.0 Ah) バッテリー BL1840 (容量 4.0 Ah) バッテリー BL1850 (容量 5.0 Ah) バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah)
電圧		直流 36 V (18 V × 2)
最大風量		1.7 m ³ /min
最大真空度		9.8 kPa
最大吸込仕事率		80 W
集じん容量		8 L
吸水量 *1		6 L
本機寸法		長さ 366 mm × 幅 334 mm × 高さ 368 mm
質量		7.6 kg (BL1860B × 2 個 取付時)

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

*1 吸水量は使用条件により異なる場合があります。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- | | |
|---|--|
|  警告 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。 |
|  注意 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。 |
|  注 | : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。 |

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 針、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

⚠ 警告

2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本機に挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。
 - ・ 本機の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ 本機の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業

⚠ 警告

4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください。(バッテリーカバー付きの場合)
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを挿し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを挿し込むと事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

⚠ 警告

4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。（バッテリーカバー付きの場合）
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
10. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
12. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
13. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
14. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。（右図の○部分）



⚠ 警告

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
 - 本機やバッテリーが異常に熱い。
 - 本機やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - 爆発や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
 - ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・感電の恐れがあります。
11. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
 - ・充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の効率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式集じん機の使用上のご注意

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式集じん機として、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB241-2

⚠ 警告

1. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
2. 保護メガネを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
3. 爆発性および発火性の環境下では使用しないでください。
4. 火災の原因となりますので、下記のものは吸わせないでください。
 - ・ 切削時や切断時の火花
 - ・ 火のついた、たばこの吸殻など高温度のもの
 - ・ 引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセニンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）
 - ・ 洗剤、薬液など、発泡性の液体。
 - ・ 液体（粉じん専用集じん機の場合）
5. 排気口をふさがないでください。
 - ・ モーターが焼損し、火災の原因になります。
6. 本機を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
 - ・ 感電や故障の原因になります。
7. 転倒などによる本機の変形、破損防止のため、本機は静かに移動してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 吸込口をふさいで運転しないでください。
 - ・ 過熱による本機の変形の原因になります。
2. セメント粉、トナーなどの固化するものを吸わせないでください。
 - ・ 本機の故障の原因になります。
3. 火気に近づけないでください。
 - ・ 本機の変形の原因になります。
4. ガラス、カミソリ、押しピン、針などの鋭利なものは吸わせないでください。
 - ・ フィルタ損傷の原因になります。
5. 本機上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
 - ・ 急に本機が動き出し、転倒するなどけがの原因になります。
6. フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
 - ・ モーター焼損など、故障の原因になります。
7. フロートが作動したまま運転しないでください。

例：作業者がいない状態でポンプとして使用する。

 - ・ モーターの温度が上昇し、部品の変形やモーター焼損など、故障の原因になります。
8. クロスフィルタで繰り返し大量の吸水をすると吸水量が著しく低下します。繰り返し大量の吸水をする場合は、本機取付けのクロスフィルタの代わりに水用フィルタの使用をおすすめします。
9. 湿式ノズルを使用する場合は、本機取り付けのクロスフィルタの代わりに水用フィルタを必ず使用してください。
 - ・ 本機の故障の原因になります。

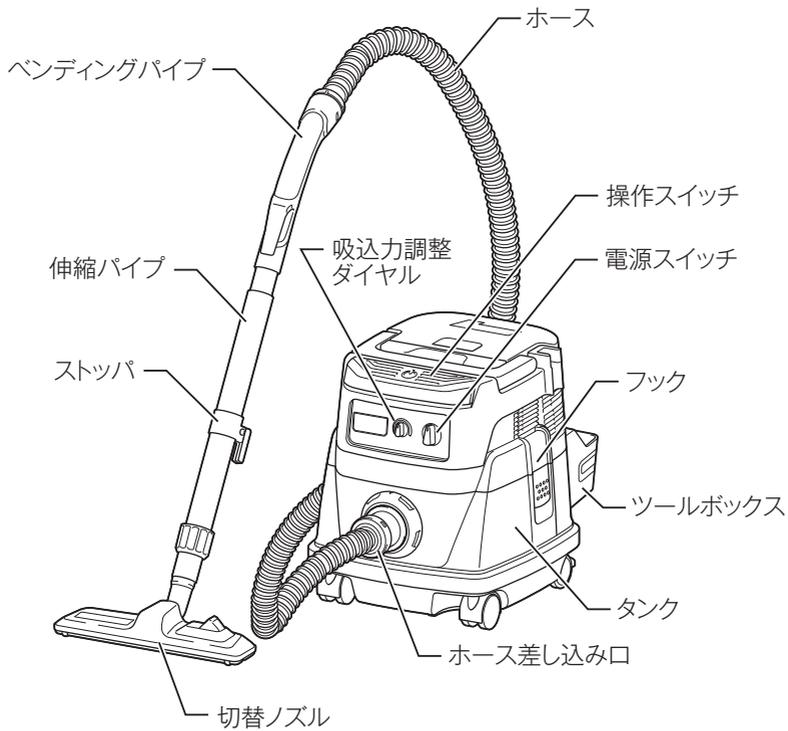
注

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0 mm ²	30 m

各部の名称と標準付属品



標準付属品

- ・ ホース (φ 32 mm × 1.7 m)
- ・ ベディングパイプ
- ・ 伸縮パイプ
- ・ ストッパ
- ・ 切替ノズル
- ・ フリーノズル
- ・ ツールボックス
- ・ ポリ袋 (650 mm × 650 mm) (本機取り付け、1 枚)
- ・ ポリ袋セット品 (650 mm × 650 mm) (10 枚入り)

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

部品名称	部品番号
バッテリー BL1830B (容量 3.0 Ah)	A-60442
バッテリー BL1840 (容量 4.0 Ah)	A-56596
バッテリー BL1850 (容量 5.0 Ah)	A-57196
バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah)	A-60464
水用フィルタ (水、湿った粉じんなどを吸引するときにご使用ください。)	A-50522
湿式ノズル (湿式用) ※	A-47846
クロスフィルタ	A-50479
パウダフィルタ (粉じん用。コンクリート、石材の粉じんなど、細かいものを吸引するときにご使用ください。プレフィルタとダンパを併用してください。吸水はできません。)	A-50491
パウダフィルタ (粉じん用 HEPA フィルタ。プレフィルタとダンパを併用してください。吸水はできません。)	A-59374
プレフィルタ (粉じん用。パウダフィルタ、ダンパとセットでご使用ください。)	A-50485
ダンパ (粉じん用。パウダフィルタ、プレフィルタとセットでご使用ください。)	A-50516

※湿式ノズル (湿式用) について

⚠ 注意

湿式ノズルを使用するときは本機取り付けのクロスフィルタの代わりに別販売品の水用フィルタを必ず使用してください。

- ・ 本機の故障の原因となります。

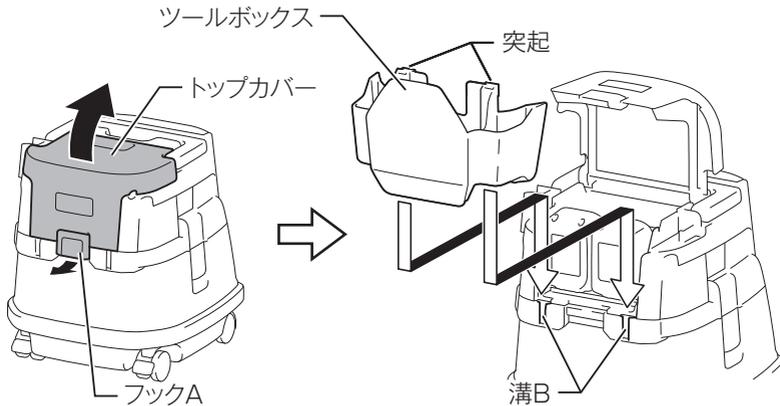
別販売品のご紹介

部品名称	部品番号
ホースコンプリート 38-1.5 (集じん機用) ・ 下記の別販売品は、ホースコンプリート 38-1.5 専用です。 ノズルアッセンブリ ノズルアッセンブリ A (乾式用) 切替ノズル (集じん機用) コーナーノズル ストレートパイプ (ストッパ 部品番号 451350-0、 ナベ小ネジ M4 × 20 部品番号 911138-5 ナベ小ネジはストッパをストレートパイプに固定 するために使用します。) ベンディングパイプ ラウンドブラシ	A-59807 122512-4 122334-2 A-61329 410306-2 192563-1 197247-6 191657-9
交換用ホースφ 32-1.7 m (標準付属)	A-68127
交換用ホース (φ 38-1.5 m)	A-67739
ベンディングパイプ (標準付属)	458184-2
伸縮パイプ (標準付属)	123584-2
ストッパ	457490-2
アンカーノズル (内径φ 28 mm のホース (カフス 22) を併用してく ださい。)	192236-6
切替ノズル (標準付属)	A-61335
フリーノズル (標準付属)	A-60654
ツールボックス (標準付属)	455732-8
ナベ小ネジ	911138-5
紙パック (5 枚入) (紙パック使用時には、紙パックごと捨てることで清 潔にゴミ捨てができます。吸水はできません。) 乾式ゴミ (粉じん以外) 用	A-48430
紙パック (5 枚入) (紙パック使用時には、紙パックごと捨てることで清 潔にゴミ捨てができます。吸水はできません。) 乾いた粉じん専用	A-49541
ポリ袋 (10 枚入り) (標準付属)	A-45777
アクセサリバッグ (ホース、パイプなどの付属品をまとめて入れておく ことができます。)	A-46040

使い方

ツールボックスの取り付け方

1. フック A を引きながら、トップカバーを開きます。
2. ツールボックスの突起 (2 か所) を溝 B (2 か所) にしっかり押し込みます。
3. トップカバーを閉じます。



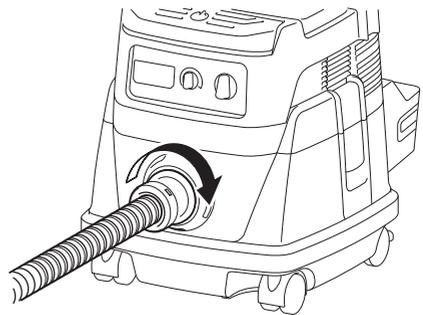
ホースの取り付け方

⚠ 注意

ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本機を移動させたりしないでください。

- ・ ホースの変形や破損などの原因になります。

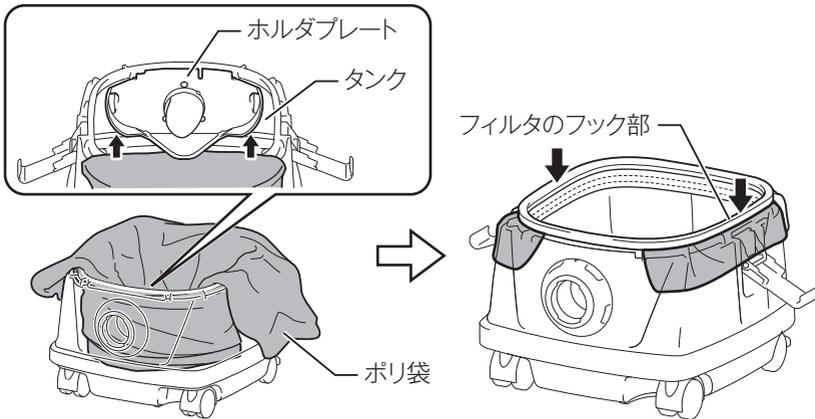
- ・ タンク部のホース取り付け口にホースを挿入し、右方向に止まるまで回して固定してください。



使い方

ポリ袋の取り付け方（本機はポリ袋なしでも使用できますが、タンク内のゴミ捨てがポリ袋を使用することにより手も汚れずに簡単に行えます。）

- ・ ポリ袋をタンク内で広げ、その一端をホルダプレートとタンクの間にはめ込み、タンクの口元まで引っ張ってください。
- ・ ポリ袋をタンクの口元にそって広げてください。
- ・ クロスフィルタまたはプレフィルタのフック部がポリ袋をしっかりとさみ込むようにセットしてください。



注

- ・ 市販品のポリ袋（45L）が使用可能です。ただし、厚さ 0.04mm 以上のものをおすすめします。また、ポリ袋が破れる恐れがありますので粉じんは溜めすぎずに捨ててください。

使い方

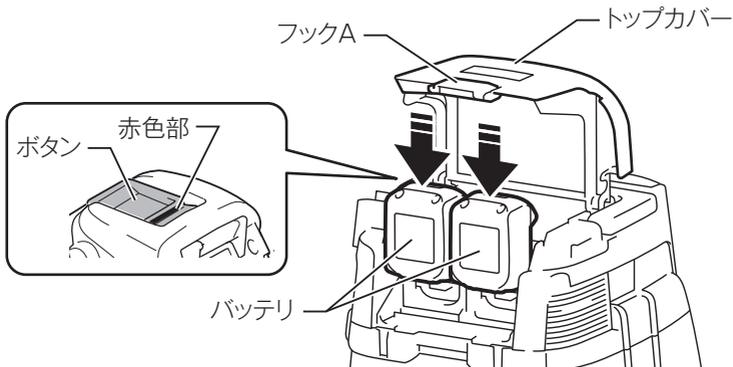
バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

- ・ フック A を引きながら、トップカバーを開きます。
- ・ バッテリーを本機から取りはずすときは、
 1. バッテリー正面のボタンを引き下げながら
 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



注

- ・ トップカバーの開閉時に、指をはさまないようにしてください。
- ・ 本機には充電機能はありません。バッテリーの充電には、充電器を使用してください。

使い方

バッテリー保護機能

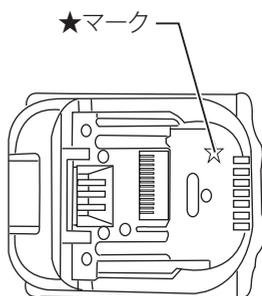
バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能が付いています。本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

★マーク付きバッテリーを使用する場合

- ・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
このときはいったんスイッチを切り、本機よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- ・ バッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
このときはバッテリーの使用を中断し、本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを冷ましてください。バッテリーを冷ましても本機が動作しない場合は、バッテリーをはずして充電してから本機に取り付け、動作させてください。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
このときは本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。

★マークなしバッテリーを使用する場合

- ・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
このときはいったんスイッチを切り、本機よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。パワーが落ちてきたと感じたら本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。



バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。(スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。) ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

使い方

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

使い方

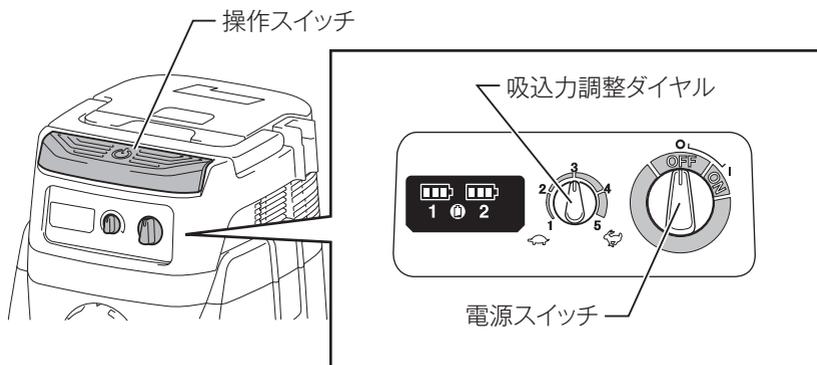
スイッチの操作

⚠ 警告

バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

1. 電源スイッチを「I (ON)」の位置にして電源を入れます。(「O (OFF)」の位置にすると電源が切れます。)
2. 操作スイッチを押すと運転し、再び押すと停止します。
3. 吸込力調整ダイヤルを回して吸込力の調整をすることができます。吸込力はダイヤルを右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。



注

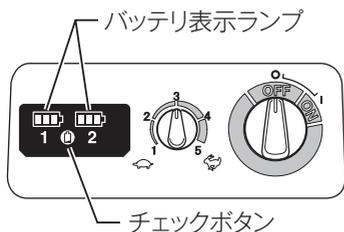
- ・ 吸込力調整ダイヤルは、目盛の範囲内で回してください。範囲を超えて無理に回すと故障の原因になります。

使い方

各種機能

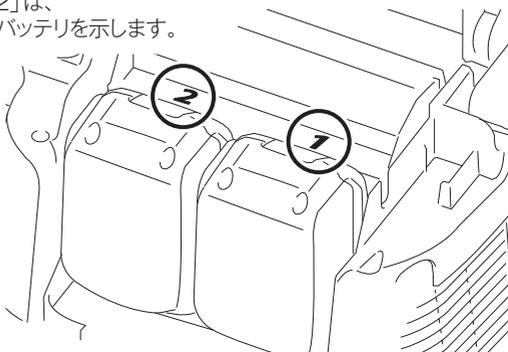
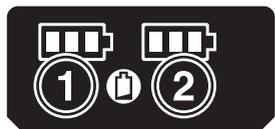
1. バッテリー残容量表示機能

- 電源スイッチが「I (ON)」の位置でチェックボタンを押すとバッテリー表示ランプがそれぞれのバッテリー残容量を表示します。
※電源スイッチが「O (OFF)」の位置でチェックボタンを押してもバッテリー残容量は表示されません。



バッテリー表示ランプ		バッテリー残容量
■:点灯	□:消灯	
		50% - 100%
		20% - 50%
		0% - 20%
		充電してください

バッテリー表示ランプの数字「1、2」は、バッテリー取り付け部の数字側のバッテリーを示します。



2. 本機・バッテリー保護機能

- 本機およびバッテリーの寿命を延ばすために、自動停止する機能です。
- 作業時に、本機またはバッテリーが次の状態になると自動停止します。状況によっては、バッテリー表示ランプが点灯します。

使い方

過負荷保護機能

- 作業時に異常な負荷を感知すると、本機は自動停止します。スイッチを切り、過負荷の要因を取り除いた後、再度スイッチを入れてください。

注

- 過負荷の作業を連続して行って自動停止したときは、スイッチを操作しても再始動しない場合があります。その際は、バッテリーの交換を知らせるランプが表示されます。バッテリーをはずして充電してから本機に取り付け、スイッチを入れてください。

発熱保護機能

- 本機が熱くなると、本機は自動停止してバッテリー表示ランプが点灯・点滅します。再始動前に本機を十分に冷ましてください。

バッテリー表示ランプ	■:点灯 □:消灯 ▣:点滅
	本機の異常発熱

過放電保護機能

- バッテリー残容量が少なくなると、本機は自動停止します。スイッチを操作しても本機が動作しない場合、バッテリーをはずして充電してください。

使い方

吸水時の自動吸込停止機構について

⚠ 警告

フロートが働いたままで、長時間運転しないでください。

- ・ 過熱により本機の変形の原因になります。

泡や石けん水などは吸い込まないでください。

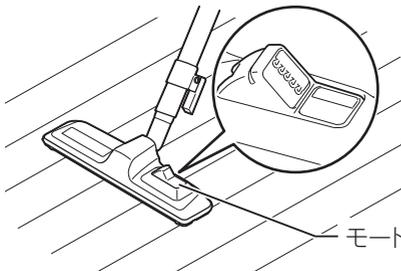
- ・ フロートが働く前に空気の出口から泡が吹き出します。そのまま使用すると感電や故障の原因になります。

- ・ 本機には一定量以上の水を吸い込んだ場合にモータ内に水が侵入するのを防ぐフロート機構が付いています。
- ・ タンク内に水が一杯になり、水を吸い込まない場合は速やかにスイッチを切り、水を捨ててください。

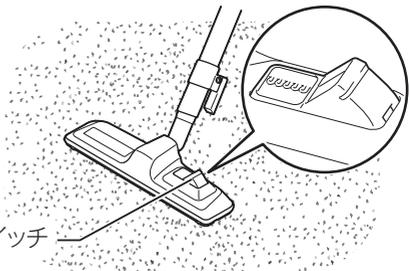
切替ノズルの使い方

- ・ 切替ノズルは、使う場所に合わせて、モードを切り替えてお使いください。
- ・ 床やたたみなどでお使いの場合は、フロアモード（左図）でお使いください。
- ・ じゅうたんなどでお使いの場合は、じゅうたんモード（右図）でお使いください。

フロアモード



じゅうたんモード

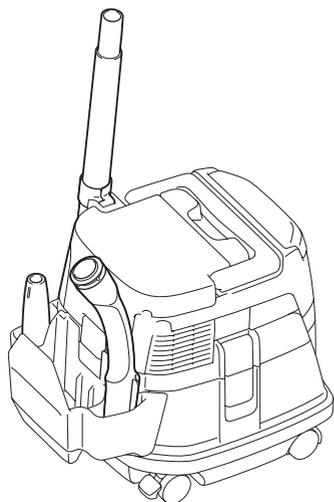


モード切替スイッチ

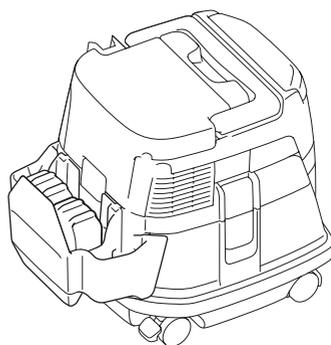
使い方

ツールボックスの使い方

- ・ ツールボックスには、各種パイプ、ノズル、バッテリーなどを収納することができます。



[各種パイプ・ノズル収納例]



[バッテリー収納例]

別販売品の使い方

ゴミの捨て方

⚠ 警告

ゴミを捨てる際には、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

タンクに強い衝撃を与えないでください。

- ・ 変形・破損の原因になります。

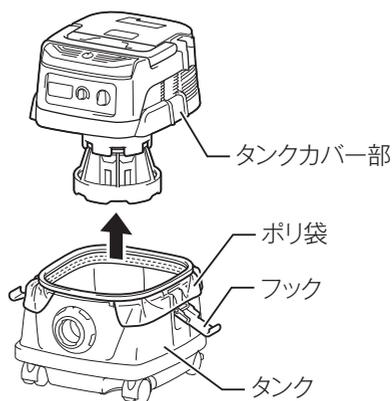
ゴミの吸引量にもよりますが、タンク内のゴミは毎日 1 回以上捨ててください。

- ・ 吸引力の低下やモーターの故障の原因になります。

タンク内のゴミを捨てるときは、フックを持たないでください。

- ・ フックが破損する原因になります。

- ・ フックをはずしてタンクカバー部分をタンクから取りはずします。
- ・ クロスフィルタに付着したゴミをポリ袋に落としてタンクからポリ袋を取り出してください。



注

- ・ ゴミの溜まったポリ袋を本機から取り出す際はタンク内の突起部に引っかかないようにポリ袋を取り出してください。
- ・ ゴミを溜めすぎると重くなりポリ袋が破れる恐れがありますので、ゴミはこまめに処分してください。

別販売品の使い方

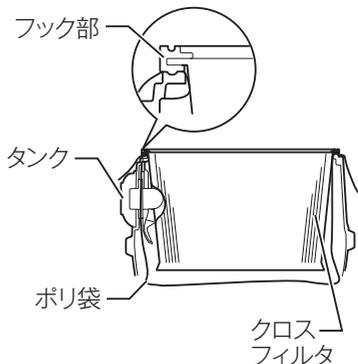
⚠ 警告

別販売品の取り付け・取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

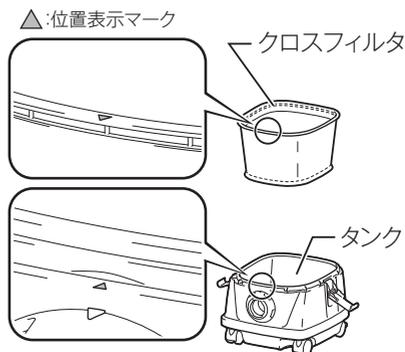
- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

クロスフィルタの取り付け方

- ・ クロスフィルタをタンクに取り付ける際は、クロスフィルタのフック部がタンク口元にしっかりかかるようにして、すき間があかないようにしてください。



- ・ クロスフィルタは位置表示マークを合わせてタンクに取り付けてください。



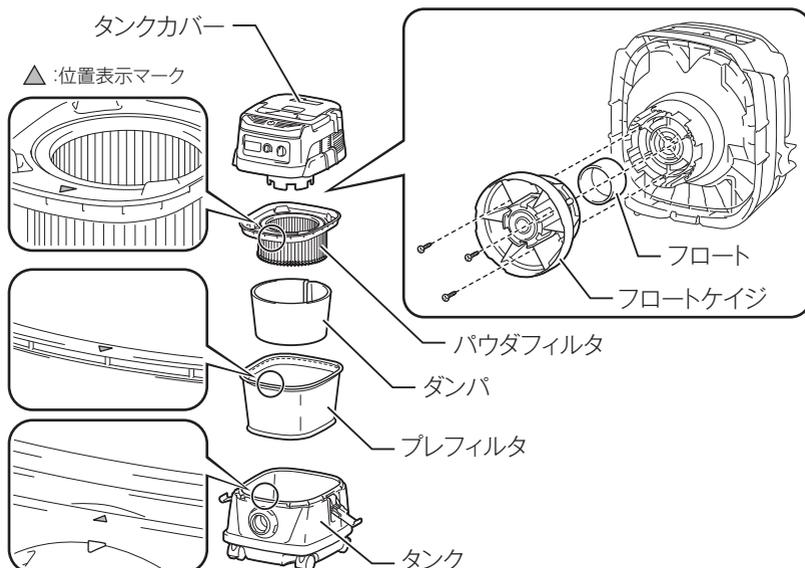
注

- ・ 別販売品のクロスフィルタを必ず取り付けてご使用ください。乾湿両用フィルタですので、吸水時にも取りはずさないでください。ただし、繰り返し大量に吸水する場合はクロスフィルタの代わりに別販売品の水用フィルタの使用をおすすめします。
- ・ 紙パックを使用するときは、クロスフィルタを併用してください。

別販売品の使い方

パウダフィルタの取り付け方

- ・ プラスドライバーでフロートケイジ固定用ネジ（3ヶ所）をゆるめフロートケイジ、フロートを取りはずしてください。



- ・ タンクにプレフィルタを入れます。
- ・ 次にダンパをパウダフィルタに装着してからプレフィルタの中に収めます。
- ・ パウダフィルタ、プレフィルタは位置表示マークを合わせてタンクに取り付けてください。
- ・ 最後にタンクカバーを取り付けます。

注

- ・ フロートケイジとフロートの取り付けの際は、ご自分でなさらないで必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ パウダフィルタ使用時は必ずプレフィルタとダンパを併用してください。パウダフィルタ単品では取り付けることはできません。
- ・ 湿式でご使用になれる場合は、パウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタをはずしてフロート、フロートケイジを装着し、水用フィルタを併用してください。

別販売品の使い方

粉じんの捨て方（別販売品のパウダフィルタ使用時）

⚠ 警告

粉じんを捨てる際には、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

パウダフィルタやタンクに強い衝撃を与えないでください。

- ・ 変形・破損の原因になります。

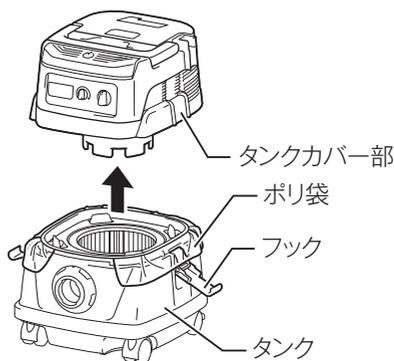
粉じんの吸引量にもよりますが、タンク内の粉じんは毎日 1 回以上捨ててください。

- ・ 吸引量の低下やモータの故障の原因になります。

タンク内の粉じんを捨てる時は、フックを持たないでください。

- ・ フックが破損する原因になります。

- ・ フックをはずしてタンクカバーを上方へ引き上げます。
- ・ パウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタに付着した粉じんをポリ袋に落とし、タンクからポリ袋を取り出してください。



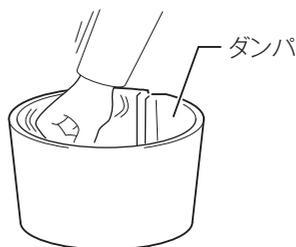
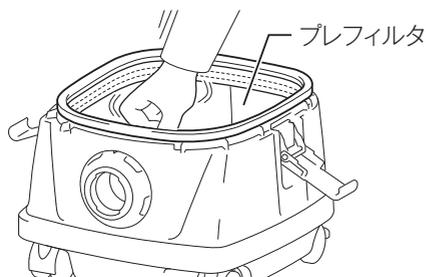
注

- ・ 粉じんの溜まったポリ袋を本機から取り出す際はタンク内の突起部に引っかかないようにポリ袋を取り出してください。
- ・ ポリ袋が破れる恐れがありますので、粉じんは溜めすぎずに捨ててください。

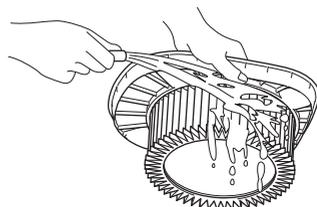
別販売品の使い方

別販売品パウダフィルタのお手入れ

- ・ パウダフィルタ、プレフィルタ、ダンパの目詰まりは吸引力を著しく低下させますので、パウダフィルタなどに付着した粉じんはこまめに取り除いてください。
- ・ ちりおとしの方法はプレフィルタ、ダンパを手で軽くはたいてください。



- ・ パウダフィルタは水洗いができますので定期的（1～2カ月毎）に粉じんを水で洗い流してください。水洗い後はパウダフィルタを陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。

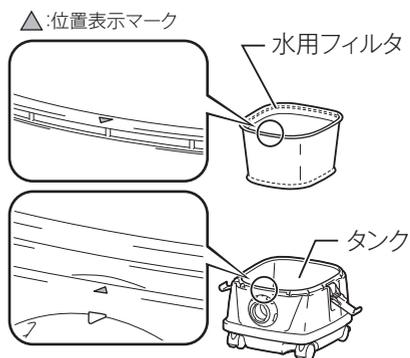


注

- ・ ブラシ・ヘラなど硬いものでパウダフィルタ、プレフィルタ、ダンパをこすってキズを付けないようにしてください。
- ・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。

水用フィルタの取り付け方

- ・ 水、湿ったゴミを吸引する場合はクロスフィルタの代わりに水用フィルタを使用してください。
- ・ 水用フィルタをタンクに取り付ける際は、水用フィルタのフック部がタンク口元にしっかりかかるようにして、すき間があかないようにしてください。
- ・ 水用フィルタは位置表示マークを合わせて取り付けてください。



別販売品の使い方

紙パックの取り付け方

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

紙パックを使用するときは、別販売品のクロスフィルタを併用してください。

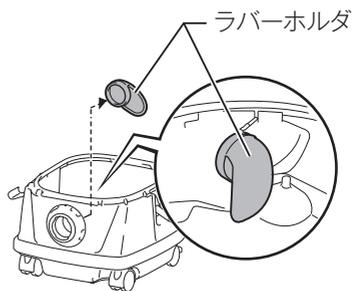
- ・ 紙パックが破損したとき、モータにゴミが入り、異音や異常発熱による火災の原因になります。

⚠ 注意

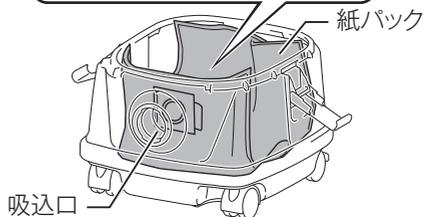
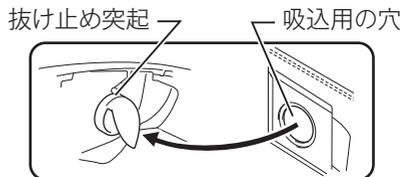
紙パック使用時は、水などの液体、湿ったゴミを吸わせないでください。

- ・ 破れる原因になります。

- ・ ラバーホルダをはずします。



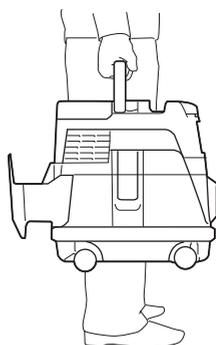
- ・ 紙パックを広げます。
- ・ 紙パックの吸込用の穴を本機の吸込口に合わせます。図の矢印方向へ、紙パックのボール紙が吸込口にある抜け止め突起より奥側になるように、しっかり差し込んでください。



運搬・収納

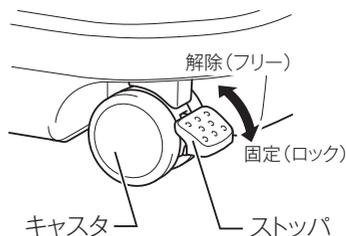
取っ手の使用方法

- ・ 運搬・移動する場合は、図のようにヘッド部の取っ手を持って行きます。取っ手を使用しない場合はヘッド部に収納できます。



キャストの固定・解除

- ・ キャスタ（ストツパ付）のレバーを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、レバーを上げます。
- ・ 本機を収納する場合、作業を中断する場合、作業中など、本機の動きを止めておきたい場合に便利です。
- ・ ストツパの操作は手で行ってください。



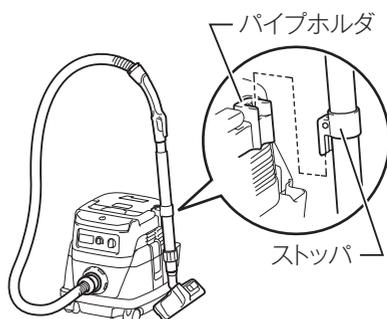
注

- ・ 本機を移動する場合は、キャストの固定が解除されていることを確認してください。キャストの破損の原因になります。

運搬・収納

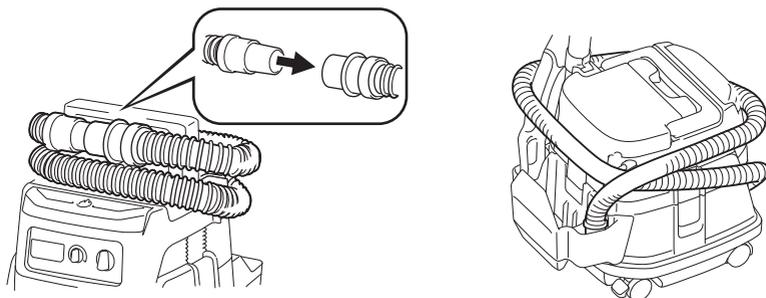
パイプホルダへの収納方法

- ・ お掃除をちょっと中断したときに、パイプホルダにパイプを立てられます。



ホースの収納方法

- ・ ホースの両端を接続したり、ツールボックスを利用した収納ができます。



注

- ・ パイプホルダに取り付けた状態の付属品に過度の力を加えないようにしてください。パイプホルダの破損の原因になります。

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

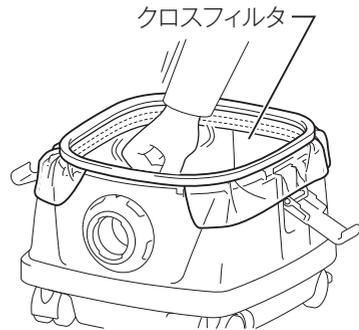
- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

ぬれた手で作業しないでください。

- ・ 感電やけがの原因になります。

フィルタのお手入れ

- ・ フィルタの目詰まりは吸引力を著しく低下させますので、フィルタに付着したほこりはこまめに取り除いてください。
- ・ ちりおとしの方法は、クロスフィルタ内側を手で軽くはたいてください。
- ・ クロスフィルタは、ときどき水でもみ洗いをし、陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



注

- ・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。
- ・ クロスフィルタは、目詰まりがひどい場合でも軽くたたく程度にしてください。ブラシで強くこすったりすると寿命が短くなります。

保守・点検について

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本機内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

保管場所について

- ・ 保管する際は、本機からバッテリーを取りはずして保管してください。次の場所には保管しないでください。
 - × お子様の手が届いたり、持ち出せる所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 軒先など雨がかったり、湿気のある所

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881A99B8
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)